さ飛ばしたいという気持ち。	三 進路について考えることにうんざりしていて、そんな気分を吹き飛ば	問三
いる 状態。	俳句が書かれた書き初め用紙が壁に百枚以上ならんで貼られてい	問二
	ー (a) (元) (b) (ウ) (プ)	問一
		問題二
	十	問十
	九 ウ	問九
	八イ	問八
	七 古いヨーロッパ全域でのユダヤ人に対する偏見・差別。	問七
	根拠がないうわさがひろがっていゆこうとするのに抵抗する。	
	六 うわさを信じる前に本当かどうかを確かめる。	問六
という特徴。	五 事実とは無関係に悪意と軽さが運動のエネルギーになっていると	問五
でることもしない、	人付き合いの悪い人たちだといううわさ。夫婦で大使館にはほぼ行かず、自分ひとりでもパーティーに	問 四
といううわさ。	こ の子供 ぐるみの 受賞といえる	
といううわさ。	三 障 害 児 を 売 り も の に し て い る	問三
	二「うわさ」とか「告げ口」とか	問二
	- (a) (b) ア (c)	問一
		題
二〇二五年二月四日実施	1午前四科(国語)解答用紙(一)	四日午前
合計得点	座席番号 受験番号 氏名	
Į.		

① 選んだ漢字 意味(〇か×) 選んだ漢字 意味(〇か×) ③ 日 <	問題五 ① ク ② オ ③ イ ④ セ ⑤ シ カ か か か か か か か か か か か か か か か か か か	けいえん ⑩ ろうにゃくなんにょ	⑥ の ⑤ の ⑤ 古株 ③ 古株	① 養 蚕 ② 圧 巻 ③ 綿 密	問題: 問九 臣野が自分よりも作者の意図を汲んだ解釈をしたと感じたから。	問人 フラの俳句に一票入れたのが、ソラをいじめていた臣野ではないかと思ったから。	問六	点数のことを気にしているように感じたから。 点数で句の善し悪しが決まるわけではないと言っていたソラが、	四日午前四科 国語 解答用紙 二 二二二五年度 普連土学園中学校入学試験 二〇二五年度 普連土学園中学校入学試験	座席番号 受験番号 氏 名
							\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		二月四日実施-	合計得点